

○令和8年4月25日 地元説明会 質疑応答

	質問	回答
1	芝を植えることで、粉塵の飛散率90%抑制というのは、最大値を言っているのではないのか。 私も調べたが、80~90%ぐらいではないのか。	90%は最大値になる。芝の高さでも抑制率は変動するので、80~90%という指摘はその通りである。
2	園庭を全面天然芝にすることだが、イネ科アレルギーの園児がいる場合はどのように対応するのか。	イネ科アレルギー関わらずアレルギーには様々な種類があるため、その都度対応を検討していくことになる。
3	スケジュールでは今年の12月に造成工事が始まるとのことだが、園舎の位置はその時に確定しているということか。	造成工事時には園舎の位置は確定している。
4	災害用トイレの容量はどれくらいなのか。	500人が30日使用できる容量になる。
5	災害用トイレを駐車場に設置するとのことだが、土砂災害特別警戒区域ではないのか。	駐車場の北側に擁壁を設置し、土砂災害特別警戒区域では無くなる予定である。
6	工事中の作業時間は住民に配慮してくれるのか。	本来午前8時から工事は開始できるが、近隣住宅への配慮ということで午前9時から開始して午後4時くらいに作業終了を予定している。
7	園庭で園児が太鼓の練習をする期間はどれくらいなのか。	イベント日の2日前から園庭で練習をして、当日を迎えるので3日間になる。
8	園舎東側に防音フェンスではなく、メッシュフェンスにすることだが、普段園児が園庭で遊ぶ際の声は東側住宅に影響ないかもしれないが、イベント等で太鼓やスピーカーを利用する際は多少なりとも影響する可能性があるなら、防音フェンスを設置してはどうか。	園庭と東側住宅との間に10mを超える園舎があり、防音フェンスの役割を担っている。そのため、間に2mの防音フェンスを設置しても遮音効果はないため、メッシュフェンスを設置する計画である。
9	地元住民のことを考えるのであれば、効果がないからメッシュフェンスで対応するというのではなく、全部防音フェンスで対応してもらいたい。同じ条件の園舎南側は防音フェンスを設置するのに東側はメッシュフェンスというのに納得できない。	園舎東側は窓等の開口部を設けていないが、園舎南側は保育室の窓があり、条件が異なるため、園児の声を遮音する目的で防音フェンスを設置する計画である。

10	前までの話では南側の窓は開けないと説明していたが、どういことか。	そのような説明は一切していない。園舎南側に園児が出ることはないと言明はしたが、窓を開けないという説明はしていない。保育室の換気のために窓は必ず開ける。
11	園舎2階に室外機を設置することだが、低周波の影響の対策はどうするのか。低周波というのは人の耳に聞こえないものだが、影響についても調査してもらいたい。	まず、現時点で低周波についての影響調査を行う予定はない。室外機の周りは壁で囲まれており、住宅と密接しているとは言い難い。対策として、影響の少ない製品の選定を行う予定である。
12	天然芝の維持管理責任はどこになるのか。	維持管理は運営法人和香会になる。
13	芝の維持管理費用はかなりかかるが、大丈夫なのか。	維持管理に年間60～100万円になる。根拠は芝の維持管理会社から見積を参考資料を取得しているのと、宿毛市希望ヶ丘保育園の毎年の予算を参考している。普通の維持管理としては芝刈りや散水になる。南国市で全面天然芝の保育園は初めてなので、問題も出てくる可能性はあるが、市と法人が協力して対応していく。
14	園舎東側のフェンスについてだが、園庭からの音に関しては影響は少ないかもしれないが、進入路の走行音に関してはメッシュフェンスだと影響があるのではないのか。近隣住宅への配慮として東側も防音フェンスにしてもらいたい。	確かに進入路の走行音はメッシュフェンスだと影響する可能性がある。防音フェンスに変更するよう前向きに検討する。